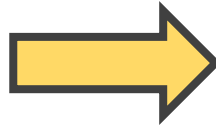


Pythone

- ① 検索ワード記入
- ② 実行ボタン押す

※実行する際、
「ファイルが削除されますが
よいですか?」と警告



Downloadsフォルダ

- ③ 前回の「suggest_****」を削除

~~Suggest_検索word1.csv
Suggest_検索word2.csv
Suggest_検索word3.csv
Suggest_検索word4.csv~~

Suggest_検索word1.csv
Suggest_検索word2.csv
Suggest_検索word3.csv
Suggest_検索word4.csv



Ubersuggest



- ④ ログインボタンを押す
- ⑤ Chromeへログインしているgoogleアカウントでubersuggestにもログインする。
- ⑥ Excelの検索ワードで検索
- ⑦ CSVファイルが「C:¥Users¥user¥Downloads」に保管される。
- ⑧ F5ボタンに相当する更新をする。
- ⑨ ⑥~⑧を繰り返す。



実行フォルダ

実行ファイル用フォル

保存用フォルダ



- ⑩ Downloadsから保存用フォルダへ移す
- ⑪ 最後にファイルを統合する。
※統合する際、Sheet名称は検索wordとする。
※実際に動作させてファイル数に依存して動作スピードが顕著に変わるようならば、MsgBoxで「ファイル多いですが大丈夫ですか?」のように警告する。
- ⑫ 分析機能として、条件に従ってデータを削除したりする。どのような分析をするかは今後検討する。